

2025年9月26日
株式会社ソラコム

IoTで店舗端末に新コンテンツを配信、ユーザー体験を拡張

株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 玉川憲)は、「IoT速報-ビジネスの最前線-」として、子どもから大人まで親しまれているデジタルペット「たまごっち」を展開する株式会社バンダイが、新製品「Tamagotchi Paradise」と連動する店頭端末「Lab Tama」に通信を搭載し、新コンテンツをオンライン配信する仕組みを構築、世界中の店頭でのユーザー体験の拡張を実現した事例を公開(<https://iot-usecase.com/bandai/>)いたしました。



■導入の背景

世界中のたまごっちファンに、“つながる”遊びを届けたい

バンダイは、人気の携帯型デジタルペット「たまごっち」シリーズの最新作「Tamagotchi Paradise(たまごっちパラダイス)」を発売しました。本製品は9言語に対応し、日本はもとより、北米、ヨーロッパ、アジアなど世界中で展開されています。



©BANDAI

全国の玩具店や百貨店、家電量販店の店頭には設置される大型端末「Lab Tama(ラボたま)」は、育成中のたまごっちを”たまごっちラボに連れて行く”という世界観を体験できるデバイスです。ユーザーが所有する「Tamagotchi Paradise」本体を専用トレイにセットすると、端末との通信が開始され、限定アイテムのダウンロードや限定のたまごっちとのブリードなどのコンテンツを楽しむことができます。

過去に展開されていた同様の店頭端末では、コンテンツの更新時に物理メディアを店舗に配布し、店舗スタッフや社員が手作業で対応する必要がありました。今回は世界同時展開となることから、地域、キャンペーン別に柔軟に更新する必要があり、運用効率や販促タイミングの最適化が大きな課題となっていました。

そこでLab Tamaでは、初めてセルラー通信機能を搭載。インターネット経由で、世界中の端末を一元管理し、タイムリーなコンテンツ更新が可能な仕組みを構築しました。

■実現したサービス

遊びを広げる“ラボ体験”とデータの活用

Lab Tamaは、ユーザーのたまごっちと連携し、店頭で限定コンテンツを提供する端末として稼働しています。ユーザーは、端末にたまごっちをセットし、物理ボタンで操作することでさまざまな遊びを楽しめます。操作されていない時は、最新のプロモーション映像を自動再生し、店頭での訴求力を高める役割も担います。

さらにLab Tamaは、店舗ごとにプレイ回数や人気コンテンツ、よく使われるキャラクターといった利用データをリアルタイムに収集。商品企画やプロモーションへのフィードバックに活用できるほか、稼働状況の可視化により、メンテナンス時期の判断や改善活動にも役立てられています。



©BANDAI

このIoT化を支えているのが、IoTプラットフォームSORACOMです。Lab TamaにはSORACOM IoT SIMが搭載されており、設置場所を問わず安定した通信を提供しています。

システムを担当したトイ事業部の坂本 大祐氏は、「世界中に設置する端末になりますので、グローバルでつながる通信であることが求められます。その点、SORACOMは海外での利用実績もあり、採用時のイメージがしやすかったですね」と話します。

SORACOMの管理画面を活用し、店舗端末の通信状況や稼働履歴を一括管理しています。また、コンテンツの更新にもSORACOMのサービスを組み合わせて利用しています。Lab Tamaは、1日1回更新ファイルの有無を確認し、必要に応じてSORACOM上に配置された動画やファームウェアを自動でダウンロードします。これにより、地域、キャンペーンに応じたコンテンツの効率的な配信が実現しました。

「セキュリティやデバイスの認証は、旧機種の開発時に最も苦労した部分です。今回は、ゼロからではなく、既存のサービスを組み合わせて品質を満たすシステムを短期間で開発したいと考えていました。SORACOMのSIMとサービスを活用することで、スムーズに製品開発が進みました」(坂本氏)

■今後の展開

コンテンツ配信とコラボ展開によるブランド価値の拡張へ

Lab Tamaは、グローバル販売に合わせて順次世界中の店舗に設置されています。言語別コンテンツのスムーズな配信も可能となり、グローバル展開が進んでいます。



トイ事業部の青柳 知里氏は、今後の展望について「定期的にコンテンツを配信できるようになったことで、長く遊んでいただける製品になりました。地域、キャンペーンに応じた追加コンテンツを柔軟に配信できるようになり、新しい企画も進めやすくなっています。引き続き、Lab Tamaの活用を広げていきたいと考えています」と語りました。

2025年夏には、NEXCO東日本とのコラボレーションによって、サービスエリアに設置されたLab Tamaで限定アイテムを配信する取り組みもスタート。バンダイは今後も、地域や業種を超えた異業種コラボを通じて、新たなユーザー接点を創出しながら、たまごっちの世界観をさらに広げていく方針です。

企業情報

インタビューをお受けいただいた方

株式会社バンダイ



トイ事業部 企画・開発担当 青柳 知里氏、EL担当 坂本 大祐氏

WEBサイト

<https://www.bandai.co.jp/>

Tamagotchi Paradise(たまごっちパラダイス)

<https://tamagotchi-official.com/jp/series/paradise/>

利用したサービス

データ通信サービス SORACOM Air

データ転送支援サービス SORACOM Beam

データ収集・蓄積サービス SORACOM Harvest

ソラコムについて

IoTプラットフォームSORACOMは、世界213以上の国と地域でつながるIoT通信を軸に、IoTを活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業DXから、イノベーティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

ソラコムコーポレートサイト <https://soracom.com>

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム 広報 田渕

pr@soracom.jp